

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
 シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4604		
科目名	ゼミナールⅣ		
担当教員	河本 志朗		
対象学年	4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 5		
講義室	1312	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP5-J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。</p> <p>DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>DP7-L〔協働力・牽引力〕集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。</p> <p>DP8-M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連</p> <p>E1学識と専門技能－20%</p> <p>F1探求と論拠－10%</p> <p>F2問題解決－10%</p> <p>J2創造的思考－10%</p> <p>K1ライティングコミュニケーション－20%</p> <p>K2オーラル・コミュニケーション－10%</p> <p>L1チームワーク－10%</p> <p>M1統合的・応用的学習－10%</p>		
教員の実務経験	<p>担当教員は山口県警察に21年間勤務し、その間3年間外務省に、さらに3年間警察庁警備局に出向し海外安全対策やテロ対策に従事しました。その後、民間研究機関において18年間にわたり危機管理、テロ対策、組織犯罪対策の研究に従事しました。各授業回においては、こうした実務経験と研究経験を融合させた観点から、各々の学生の研究テーマの内容に応じて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（第1回～第15回）</p>		
成績ターゲット区分	<p>■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応</p> <p>3 発展期 ～ 4 定着期</p>		
科目概要・キーワード	<p>危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。ここでは、個人研究を卒業論文として執筆し、完成させるまでの総合的なプロセスを指導</p>		

	<p>します。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>■キーワード 卒業論文</p>						
授業の趣旨	<p>■副題 ゼミナールⅢで策定した研究計画に基づく研究をさらに進めて、卒業論文を完成させましょう。</p> <p>■授業の目的 ゼミナールⅢで策定した個人研究テーマに関する研究計画に基づいて、これまで進めてきた研究をさらに進め、形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成などについて検討を加えながら、完成に向けて研究を進めることを目的とします。</p> <p>■授業のポイント ゼミナールⅢで策定した研究計画書に沿って研究が進展しているか、論文の形式、論文全体の構成が妥当か、研究の結論とその結論に至る論拠や論理的展開が妥当かなど、研究状況の報告と相互の討論を行いながら確認し、卒業論文の完成を目指します。</p>						
総合到達目標	<p>■研究計画書に沿って研究を進めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書に沿って文献収集・精読、社会調査などを実施した研究成果を整理・精査することができる。（第1回～第6回） ・研究成果について整理・精査した結果、さらに必要なものについて研究を行うことができる。（第1回～第6回） <p>■形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成などについて検討を加えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文概要について発表・討論することにより形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文の構成について検討することができる。（第7回～第15回） ・検討の結果発見された問題点について再検討し修正することができる。（第7回～第15回） <p>■卒業論文を完成させることができる。</p>						
成績評価方法	<p>次の方法により成績を評価します。</p> <p>■論文作成状況の報告（70%） （評価の観点）研究計画に基づく論文作成の進捗状況について、論文の形式、構成、結論及び結論に至る論拠や論理的展開の妥当性について評価します。 （フィードバックの方法）授業時間中に講評します。</p> <p>■授業参加度（30%） （評価の観点）他の履修性が報告する論文作成状況に関して、論文の形式、構成、結論及び結論に至る論拠や論理的展開の妥当性などについて相互討論を行う中で、自らの考えを自らの言葉で発言することによって討論に積極的に参加して議論を進め、考察を深めることに貢献できているかについて評価します。 （フィードバックの方法）授業時間中に講評します。</p>						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	授業中は、積極的に発言することを求めますので、そのためには十分な予習をしておいてください。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>①授業テーマ 研究内容の妥当性の検討</p> <p>②授業概要 研究計画書に基づいて進めている研究内容の現状について発表し、形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性などについて相互討論により検討することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）</p> <p>③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、発表に備えてまとめておく。</p> <p>④復習（120分）討論の結果を受けて、適宜研究テーマや研究計画案の修正を検討する。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>①授業テーマ 研究内容の妥当性の検討</p> <p>②授業概要 研究計画書に基づいて進めている研究内容の現状について発表し、形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性などについて相互討論により検討することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）</p> <p>③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ 研究内容の妥当性の検討</p> <p>②授業概要 研究計画書に基づいて進めている研究内容の現状について発表し、形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性などについて相互討論により検討することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）</p> <p>③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、発表に備えてまとめておく。</p> <p>④復習（120分）討論の結果を受けて、適宜研究テーマや研究計画案の修正を検討する。</p>	2	<p>①授業テーマ 研究内容の妥当性の検討</p> <p>②授業概要 研究計画書に基づいて進めている研究内容の現状について発表し、形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性などについて相互討論により検討することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）</p> <p>③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、</p>
回	内容						
1	<p>①授業テーマ 研究内容の妥当性の検討</p> <p>②授業概要 研究計画書に基づいて進めている研究内容の現状について発表し、形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性などについて相互討論により検討することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）</p> <p>③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、発表に備えてまとめておく。</p> <p>④復習（120分）討論の結果を受けて、適宜研究テーマや研究計画案の修正を検討する。</p>						
2	<p>①授業テーマ 研究内容の妥当性の検討</p> <p>②授業概要 研究計画書に基づいて進めている研究内容の現状について発表し、形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性などについて相互討論により検討することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）</p> <p>③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画案を策定し、</p>						

	<p>発表に備えてまとめておく。</p> <p>④復習（120分）討論の結果を受けて、適宜研究テーマや研究計画書の修正を検討する。</p>
3	<p>①授業テーマ 研究内容の妥当性の検討</p> <p>②授業概要 研究計画書に基づいて進めている研究内容の現状について発表し、形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性などについて相互討論により検討することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）</p> <p>③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画書を策定し、発表に備えてまとめておく。</p> <p>④復習（120分）討論の結果を受けて、適宜研究テーマや研究計画書の修正を検討する。</p>
4	<p>①授業テーマ 研究内容の妥当性の検討</p> <p>②授業概要 研究計画書に基づいて進めている研究内容の現状について発表し、形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性などについて相互討論により検討することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）</p> <p>③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画書を策定し、発表に備えてまとめておく。</p> <p>④復習（120分）討論の結果を受けて、適宜研究テーマや研究計画書の修正を検討する。</p>
5	<p>①授業テーマ 研究内容の妥当性の検討</p> <p>②授業概要 研究計画書に基づいて進めている研究内容の現状について発表し、形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性などについて相互討論により検討することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）</p> <p>③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画書を策定し、発表に備えてまとめておく。</p> <p>④復習（120分）討論の結果を受けて、適宜研究テーマや研究計画書の修正を検討する。</p>
6	<p>①授業テーマ 研究内容の妥当性の検討</p> <p>②授業概要 研究計画書に基づいて進めている研究内容の現状について発表し、形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性などについて相互討論により検討することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）</p> <p>③予習（120分）各自が設定した研究テーマについて、具体的な研究計画書を策定し、発表に備えてまとめておく。</p> <p>④復習（120分）討論の結果を受けて、適宜研究テーマや研究計画書の修正を検討する。</p>
7	<p>①授業テーマ 卒業論文の完成に向けた研究の継続</p> <p>②授業概要 形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性に対する検討結果を受けて、卒業論文の完成に向けてさらに研究を継続することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。</p> <p>③予習（120分）論文の妥当性の検討結果を受けてさらに研究を続ける。</p> <p>④復習（120分）論文の妥当性の検討結果を受けてさらに研究を続ける。</p>
8	<p>①授業テーマ 卒業論文の完成に向けた研究の継続</p> <p>②授業概要 形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性に対する検討結果を受けて、卒業論文の完成に向けてさらに研究を継続することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。</p> <p>③予習（120分）論文の妥当性の検討結果を受けてさらに研究を続ける。</p> <p>④復習（120分）論文の妥当性の検討結果を受けてさらに研究を続ける。</p>
9	<p>①授業テーマ 卒業論文の完成に向けた研究の継続</p> <p>②授業概要 形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性に対する検討結果を受けて、卒業論文の完成に向けてさらに研究を継続することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。</p>

	<p>③予習（120分）論文の妥当性の検討結果を受けてさらに研究を続ける。</p> <p>④復習（120分）論文の妥当性の検討結果を受けてさらに研究を続ける。</p>
10	<p>①授業テーマ 卒業論文の完成に向けた研究の継続</p> <p>②授業概要 形式の妥当性、結論とその結論に導く論拠及び論理的展開の妥当性、論文全体の構成の妥当性に対する検討結果を受けて、卒業論文の完成に向けてさらに研究を継続することができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。</p> <p>③予習（120分）論文の妥当性の検討結果を受けてさらに研究を続ける。</p> <p>④復習（120分）論文の妥当性の検討結果を受けてさらに研究を続ける。</p>
11	<p>①授業テーマ 卒業論文の完成に向けた点検</p> <p>②授業概要 卒号論文の完成・提出に向けて形式要件が整っているか、引用方法、参考文献の記載方法などに問題がないか、最終的な点検を行うことができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。</p> <p>③予習（120分）論文の形式要件を再確認し、要件を満たしているか確認しておく。</p> <p>④復習（120分）点検の結果、不備が発見された場合は修正を行う。</p>
12	<p>①授業テーマ 卒業論文の完成に向けた点検</p> <p>②授業概要 卒号論文の完成・提出に向けて形式要件が整っているか、引用方法、参考文献の記載方法などに問題がないか、最終的な点検を行うことができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。</p> <p>③予習（120分）論文の形式要件を再確認し、要件を満たしているか確認しておく。</p> <p>④復習（120分）点検の結果、不備が発見された場合は修正を行う。</p>
13	<p>①授業テーマ 卒業論文の完成に向けた点検</p> <p>②授業概要 卒号論文の完成・提出に向けて形式要件が整っているか、引用方法、参考文献の記載方法などに問題がないか、最終的な点検を行うことができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。</p> <p>③予習（120分）論文の形式要件を再確認し、要件を満たしているか確認しておく。</p> <p>④復習（120分）点検の結果、不備が発見された場合は修正を行う。</p>
14	<p>①授業テーマ 卒業論文の完成に向けた点検</p> <p>②授業概要 卒号論文の完成・提出に向けて形式要件が整っているか、引用方法、参考文献の記載方法などに問題がないか、最終的な点検を行うことができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。</p> <p>③予習（120分）論文の形式要件を再確認し、要件を満たしているか確認しておく。</p> <p>④復習（120分）点検の結果、不備が発見された場合は修正を行う。</p>
15	<p>①授業テーマ 卒業論文の完成に向けた点検</p> <p>②授業概要 卒号論文の完成・提出に向けて形式要件が整っているか、引用方法、参考文献の記載方法などに問題がないか、最終的な点検を行うことができる。学生の研究テーマの内容に応じて、実務経験を踏まえて研究方法や先行研究に関して指導を行います。（E1、F1、F2、J2、K1、K2、L1、M1）。</p> <p>③予習（120分）論文の形式要件を再確認し、要件を満たしているか確認しておく。</p> <p>④復習（120分）点検の結果、不備が発見された場合は修正を行う。</p>
関連科目	<p>自主創造の基礎1 RMGT1215、自主創造の基礎2 RMGT1216、危機管理基礎演習Ⅱ RMGT2602、ゼミナールⅠ RMGT4601、ゼミナールⅡ RMGT4602、ゼミナールⅢ RMGT4603、と関連があります。</p>
教科書	<p>特にありません。</p>
参考書・参考URL	<p>履修生の研究テーマにより異なりますので、その都度示します。</p>
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 開講時に告知します。</p> <p>■オフィスアワー 火曜日5時限 それ以外の時間についてはメールにて事前にアポイントを取れば対応します。</p>
研究比率	<p>■危機管理領域との対応 履修生の研究テーマにより異なります。</p> <p>■危機管理学と法学のバランス 履修生の研究テーマにより異なります。</p>

